

福岡県看護協会7地区支部だより

ご挨拶

日頃より地区支部活動へのご協力を賜り、感謝申し上げます。

福岡7地区支部では、地域連携型看護サマリーの活用推進など、看看連携の取り組みを推進しており、切れ目なく医療・看護・介護が受けられる地域づくりを目指しています。看看連携の第一歩は、顔の見える関係づくりから・・・施設代表者会議では、共通課題への各施設の取り組みなどの情報を共有し、まちの保健室では、派遣スタッフ同志の交流を深めながら楽しく活動をしています。下記に、今年度の活動をまとめていますので、是非ご覧ください。

そして、次年度も引き続き、ご支援をお願い申し上げます。（令和6年度役員一同）

まちの保健室



日時：令和6年10月19日（土）10:00～14:00

場所：イオン筑紫野 3階イオンホール

活動内容：血圧測定・血管年齢測定・血糖測定・健康相談

来場者：84名 対応スタッフ17名



糖尿病看護認定看護師による血糖測定と健康相談を実施。

食物サンプルやパンフレット展示、ラカントの試供品提供なども行い、血糖測定は若い方に人気でした。



血管年齢測定は、いつも人気！家族連れで来場され、家族全員測定し、家族みんなの健康意識向上に繋がる機会となりました。



地区支部研修会

日時：令和6年11月9日（土）13:30～15:00

場所：福岡大学筑紫病院3階ガーデンホール

テーマ：「フィジカルアセスメント～高齢者の呼吸ケア～」

講師：中村 信也氏 久留米大学病院主任看護師 呼吸療法士

参加者：18施設63名（看護師53名・准看護師1名・介護福祉士4名・臨床工学技士2名・OT1名・介護助手1名・看護助手1名）

呼吸のメカニズムに基づく呼吸アプローチ、ケアについて、先生の実践知溢れた体験型の研修で、楽しく学びました。“即実践に活かせる、学んだ事を使いたい”と理解度、満足度共に高く、第2弾の実技編の研修を望む声も多く聞かれました。

福岡県看護学会地区支部活動報告



7地区支部で取り組んでいる「地域連携型看護サマリー」活用による看看連携を報告しました。サマリー書式を地区支部ページにアップ予定です。